

大阪府立茨田高等学校 令和元年度 第1回学校運営協議会 議事録

開催日時：令和元年6月13日（木） 15時30分より

開催場所：府立茨田高等学校 校長室

出席者（敬称略）

協議会委員・・・川村幸治、早坂三郎、寺野雅之、綿世良一、渡邊哲朗、石井弘美

事務局・・・（校長）伊藤慎司、（教頭）藤原清隆、山下尚亮、

（首席）松井くみ子、西本敦史

記録・・・・・・西本敦史

第一部

1. 学校長あいさつ

2. 自己紹介（協議会委員・事務局）

3. 学校経営計画の説明

前年度承認された内容とほぼ同じことを確認した

4. 本校の取り組みについての説明

○ユニバーサルデザインを取り込んだ授業の実施

○規律ある授業の実施とICT機器を活用した授業の実施

○授業改善の取り組みを継続

○大手前高校授業見学

○遅刻削減の取り組みとその成果

○資格取得の取り組みとその成果

○進級・卒業に向けて 自習室の取り組み

○教職員研修の実施状況

（質疑応答）

○大手前高校授業見学の効果は見込めるのか？

⇒導入や生徒への発問、授業コントロールなどは、本校の授業にも参考になる。本校の授業では、生徒の反応がダイレクトに現れるので、経験のある教員の授業を観察することは価値がある。

○地元（鶴見区）から茨田高校への進学状況は？

⇒近隣中学からは、今年度3～4名程度。10名を超える進学があったこともあるが、

○茨田高校が、地域の発展を支える学校になるというコンセプトはわかりやすいが、正社員になることを目標とするのは、時代の流れとは違うのでは？

- ⇒正社員でないと地域を支えることができないわけではないので、修正する。
- 教職員育成のための研修について、子どもたちの自尊感情を高める取り組みについては考えていないのか？
- ⇒毎年取り組んでいることなので、今年度も継続しつつ、教育センターの協力を得ながら、授業改善への意識付けを重点に行っていく。
- 中学生・中学生の保護者に伝えるに当たり、部活動が活発など、何か光るものがあるかと考えるが？
- ⇒ICT 機器の整備で分かりやすい授業の実施など、さらに魅力をアップできるよう取り組む。
- 保護者対応の教職員研修が必要では？
- ⇒若い教員が多く、経験不足は否めない。今後は、経験不足を補えるように研修を実施していきたい。
- 教職員がきめ細かな対応を行い、校務が多忙になっていないか。研修の有用性は分かるが、さらに多忙化しないよう、配慮は必要だと考えるが。
- ⇒配慮は行っていきたい。
- 中学校教員の考えていることを学ぶべきでは？
- ⇒学ぶ機会があれば、是非にお願いしたい。

第二部

5. 協議『茨田高校の更なる発展をめざして』（各協議委員から意見を受ける）

議長：川村様

- 息子が3年生で部活動に参加。先生との関りが深く、今年とても成長を感じている。先生に伸ばしてもらったように感じている。ただ、多くの生徒の挨拶が少ない印象を受けた。保護者の活動がもっと広がればよいのでは。＝保護者の活動が学校の役に立っていることをうまく伝えることはできないか。経験のない先生こそ保護者との関りを深めることはとても重要だと感じている。
- 保護者は先生との関りを求めている。学校のコンセプトに加えてもいいのではないか。茨田高校の特徴を（目標を掲げて、具体的な取り組みにつなげる）
親が茨田高校に子供をいれることで、どんなメリットを受けられるかを明確に。
- 中学校の親から見ると、端的には「この高校は何をしてくれるのか」が重要。どの高校もとても頑張って指導してくれていると感じる。中学校からもさらに伝えていきたい。若い先生はたくさんいる中で、生徒たちに何を提供するのが重要だと伝えている。
- かつては、やらなければならないことに追われて先生が疲弊していた。先生たちが働きやすい学校にしよう。「先生にコミュニケーション能力をつけよう」ということでコミュニケーションコースを創設。やっと生徒と先生との壁が壊れてきたのではないか。若い先生の夢を叶えてあげてほしい。転勤希望者も減ってきているような学校になったのかなと思う。
- 部活動が気になる。もう少し増えないか。学校説明会などで、中学生と高校生との関りを生み出せるのではないか。大学入試において受験資格につながる傾向は高まっていく。

外部検定資格などに対応できるようにしていく必要がある。多面的な視点を。

- 教員の平均年齢低い＝いい面もある。経験の浅い教員の良さもどんどん出して欲しい。そこに、経験のある教員がうまく伝えていく形が理想。さらに、中学校への発信力を全体で高めていくべきである。新しい校長から新しい目線で進めていくことは意義のある事ではないか。目標値をもっと思い切って上げるなど、ターゲットにフォーカスすることを要望する。

6. 謝辞（伊藤校長）

より教員が、生き生きとして働きやすい学校にしたい。学校として、どの部分を高めていくか検討しているところ。生徒に対して、どういう授業をするか、どういう目的で授業をするか考えるように仕向けたい。さらに、教員との対話をしながら学校運営を進めていきたいと考えている。

次回の開催予定

第2回は11月7日（木）15:30 校長室で行います。